

日本老年医学会認定【老健管理認定医】 一症例報告書作成の手引き一

【症例報告の形式】

- 1) 症例は、疾患への適切なアプローチや多職種協働など老人保健施設利用者への取り組みの態度や考察などが読み取れることが重要です。
- 2) 記述様式は、書式に従って下さい。用紙は A4 サイズ1枚とし、十分な情報を記載して下さい。
- 3) 症例要約:症例の内容を端的に表したタイトルを記載して下さい。
(例)アルツハイマー病に対して認知症リハを行なったのち、在宅復帰した一例
- 4) 利用者情報(利用者 ID、利用者年齢、利用者性別) 老人保健施設名、入所日・退所日、転帰を記載して下さい。利用者を特定できるような氏名、イニシャル、生年月日、居住地は記載しないで下さい。
利用者 ID は、照合のため施設で付与している ID としますが、施設で責任を持って管理する限りにおいては連結可能な独自の ID を用いても構いません。
- 5) 診断名:確定診断名は、介護が必要になった診断名のほか、入所中に対処した疾患等、重要度に従い、主病名を 1. に記載してください。2. 以下に副病名、合併症について主要なものに限り記載して下さい。
- 6) 病歴:老人保健施設において介護が必要となった状況について簡潔に記載して下さい。既往歴、家族歴、生活歴等は全てを記載する必要はありません。
利用者の個人情報につながる紹介元(先)病院(医師)名の記載は避けて下さい。
- 7) 入所目的:老人保健施設に入所した目的について簡潔に記載して下さい。
- 8) 入所後経過、治療内容、考察:入所時現症、治療内容および転帰について記載して下さい。
 - ① 薬剤名は一般名で記載するように心がけてください。なお、一般名の後に括弧書きで商品名を記載しても構いません。入所中に行なったリハビリテーションや、減薬内容、在宅復帰の試み等についての記載でも構いません。
 - ② 考察としては、対象者の診断の妥当性、治療法選択やケア、リハビリテーションについて簡潔に記載して下さい。